

7年7月30日

軽井沢町議長 川島 さゆり殿

決算審査直前 特別集中セミナー 報告書

報告者 公明党 眞島 聡子

○日時令和7年7月29日(火)13時~16時、30日(水)10時~13時

○会場：オンライン

○出席者：眞島聡子

○主催および講師：ローカルマニフェスト推進連盟 副代表 川上文浩（可児市議会議員）

○内容

DAY-1

1. 可児市議会の概要説明
2. 予算審議前の議会からの決算審査報告
3. 決算に入る前に

監査委員～一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況意見書と普通会計決算の

分析を生かそう～（決算カード）

DAY-2

4. 決算の進め方
5. 可児市の決算
6. 重点事業シート
7. 委員会質疑
8. 提言

○可児市議会の取り組み

- ・ 常任委員長は、予算決算常任委員長から決めている。
- ・ 重点事業シートを付属書類としている。また議員は、執行部より3日間の事業詳細説明を受け、その後、議員より提出された質問通告を正副委員長がまとめ、委員会審査が行われるため、無駄がなく深い審査が行われる。事業シートは全自治体で作成されているため他自治体でも提出は可能である。審査後は必ず議員間討議を行い、全会一致の提言を提出している。
- ・ 監査は現場（学校等）に出向き、備品の確認まで行っている。
- ・ 所管の委員会は、課題があれば各施設に赴き視察を行い確認をする。

○気付き

- ・町の課題を明確にし、決算審査に臨むことが必要。
- ・地方自治法で議長は全ての委員会で委員長の許可なく発言ができる。
- ・予算が適正に使われているかは、詳細資料提出を受けた監査が行う仕事である。委員会では、総括したものをどう活かすかを質問すべきところである。
- ・執行部は町長目線である、議員は市民目線で質疑を行うことが必要。

○考察

可児市議会の決算審査は、各議員が課題を明確にし、市民の福祉向上を目的として、深い質疑が行われるよう改革が行われてきた。決算審査は来年度予算につながる最重要の委員会として位置付けられていたことが印象的であった。今回、初めて決算に関わるセミナーに参加したが、まだ自身で理解できないことも多いため今後も研鑽を重ねていきたい。